

2025 年 1 月 24 日

中部電力ミライズ株式会社
株式会社 ADEKA

ADEKA 三重工場内で野立て太陽光発電設備および ソーラーカーポート由来の CO₂ フリー電気の提供サービスを開始 ～CO₂ を削減するとともに、駐車場の利便性向上を実現～

中部電力ミライズ株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役 社長執行役員：神谷 泰範、以下「中部電力ミライズ」）と株式会社 ADEKA（本社：東京都荒川区、代表取締役 社長兼社長執行役員：城詰 秀尊、以下「ADEKA」）はこのたび、ADEKA 三重工場（三重県員弁郡東員町）にて、中部電力ミライズが提供する野立て太陽光発電設備およびソーラーカーポートで発電される電気を供給するサービス（以下「本サービス」）を開始しました。

本サービスに基づき、中部電力ミライズが ADEKA 三重工場内の遊休地（旧グラウンド）に野立て太陽光発電設備（パネル出力合計：約 840kW、年間発電量：約 100 万 kWh）を設置し、11 月 29 日から発電を開始しました。

また、三重工場内の駐車場の一部に、EV 充電器（定格出力約 3kW）を付帯したソーラーカーポート（パネル出力合計：約 30kW、年間発電量：約 3.6 万 kWh）を設置し、11 月 29 日から発電を開始しました。

ソーラーカーポートは、工場へ来訪されるお客さまが乗降時に雨に濡れることを防ぎ、夏場には車内温度の上昇を抑制します。さらに、EV 充電器を併設することにより、ソーラーカーポートへの停車中に充電ができるため、駐車場の利便性向上にも寄与します。

ADEKA は、本サービスの導入により、初期負担なく太陽光発電による地球にやさしい CO₂ フリー電気を利用することが可能となります。また、野立て太陽光発電設備およびソーラーカーポートで発電した電気は、ADEKA 三重工場内で使用する電気の約 6% に相当し、CO₂ 排出量を年間で約 475t 削減することができます。

中部電力ミライズと ADEKA は、今後も再生可能エネルギー由来電力の活用を進めることで、カーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。



(上) ADEKA三重工場遊休地に設置・発電開始した野立て太陽光発電設備
 (下) 同 駐車場に設置・発電開始したEV充電器とソーラーカーポート

以 上